

全国証券大会
加藤金融担当大臣 挨拶
令和6年10月2日

皆様こんにちは。昨日発足しました石破内閣において、金融担当大臣を拝命しました加藤勝信です。本日は、全国証券大会にお招きいただき、厚く御礼申し上げます。こちらが、金融担当大臣として、初めてご招待いただくイベントでございます。

石破内閣では、これまで岸田内閣が進めてきた経済政策をしっかりと引き継ぎ、デフレ経済からの脱却を確実なものとしていきます。

また、先程、石破総理からもお話しがありましたとおり、「資産運用立国」の政策もしっかりと引き継ぎ、更に強力に発展させるとともに、これに加え、地方への投資を含め、内外からの投資を引き出す「投資大国の実現」を経済政策の大きな柱として進めていきたいと考えており、金融担当大臣への就任に当たり、総理からも直接、しっかりと取り組むよう、はっきりと指示を受けたところです。

政府としましては、この「資産運用立国」や「投資大国」の実現に向けて、家計、企業をはじめインベストメント・チェーンを構成する各主体をターゲットとした取組をさらに強化してまいります。

皆様ご認識のとおり、足元において「貯蓄から投資へ」の移行が大きく進んできています。その動きを更に大きなものとしていきます。第一に、家計に向けては、デフレから脱却し、適度な物価上昇が見込まれていく中で、より幅広い層の家計において長期安定的な資産形成が行われるよう、NISAの適切な活用や金融経済教育を推進してまいります。

第二に、企業に向けては、株主である機関投資家が行うスチュワードシップ活動等を通じて企業の統治・経営改革を促し、それにより、持続的・構造的な賃上げ等の人的投資や成長分野への戦略的な投資がなされるよう、取り組んでまいりたいと考えています。

第三に、脱炭素化など社会課題解決に向けた投融資や、スタートアップに対する投資といった、まだ、必ずしも十分に行われていない分野への資金供給も促進していきたいと考えています。

最後に、企業への資金供給と投資成果の家計への還元が適切になされるよう、企業と家計を橋渡しする資産運用業や年金等のアセットオーナーの機能強化も図っていきます。

こうした取組を通じて、資金循環の良い流れが実現することで、スタートアップや地域の企業には「ビジネスの機会」が、個人投資家等には「投資収益」が、働く従業員には「賃上げ」がもたらされ、更にこれらが加速・拡大していく、こうした好循環を実現していきたいと考えています。

そのためにも、マーケットや金融機関関係者等と緊密なコミュニケーションをとることが非常に重要だと思っています。金融担当大臣として、率先して取り組んでまいります。特に、政権が大きく変わっていく中でありますので、メッセージを発信していきたいと考えております。

証券業界の皆様は、金融商品を顧客の皆様を提供する立場として、家計の安定的な資産形成に向けて重要な役割を担っていただいております。

顧客一人一人のライフプランや資金ニーズを踏まえて、中長期目線での資産形成を後押しし、商品販売時のみならずアフターフォローもしっかりと行う、そして何といたっても顧客の利益の最大化を図っていただきたいと考えております。

これにより、顧客が信頼と安心のもとで金融サービスを利用できるようになり、それがさらに皆様の業界の安定的な収益基盤の確立にもつながるといった良い流れを実現していただきたいと思っております。

最後に、改めまして、今後とも、皆さま方と力を合わせて目標に向けて全力で取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。